#### 横浜天声キリスト教会 週報 第17巻42号(No.662) 2022年10月16日

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

黙祷 1ヨハネ1:9 ・・・・・・・ 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。

\*賛美 ………308番 実れる田の面(も)は

\*交読文 ………1番

\*使徒信条 ………会衆一同

\*頌栄 ......178番 恵みふかきみ神よ

礼拝のための祈り ・・・・・・ 成田エクレシア: 史執事 天声: 小林伝道師

賛美 ・・・・・・・・・・ 259番 主の光の使者よ

メッセージ・・・・・・・・・ 信じる者には、どんなことでもできる!(マルコ9:17-27)

御言葉を適用する祈り ・・ 会衆一同

替美 ・・・・・・・・・・・ リバイバル

幸せと成功の宣言文・・・・ 会衆一同

献金感謝の祈り ・・・・・・・ パスター

報告・・・・・・・・・・・・・ 次週は収穫感謝祭です。捧げ物は金/土曜日にお願いします。

\*主の祈り ・・・・・・・ 会衆一同

\*祝祷 ・・・・・・・・・・ パスター

### 天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ1:1、マタイ3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(第二テサロニケ3:5)

#### 祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

愛する\_\_\_\_よ。すべての霊を信じることはしないで、それらの霊が神から出たものであるかどうか、ためしなさい。多くのにせ預言者が世に出てきているからである。\_\_\_\_は、こうして神の霊を知るのである。すなわち、イエス・キリストが肉体をとってこられたことを告白する霊は、すべて神から出ているものであり、イエスを告白しない霊は、すべて神から出ているものではない。これは、反キリストの霊である。\_\_\_\_は、それが来るとかねて聞いていたが、今やすでに世にきている。(1ョハネ 4:1-3)

\_\_\_\_がイエスから聞いて、\_\_\_\_に伝えるおとずれは、こうである。神は光であって、神には少しの暗いところもない。神と交わりをしていると言いながら、もし、闇の中を歩いているなら、\_\_\_\_は偽っているのであって、真理を行っているのではない。しかし、神が光の中にいますように、\_\_\_\_も光の中を歩くならば、\_\_\_\_は互に交わりをもち、そして、御子イエスの血が、すべての罪から\_\_\_\_をきよめるのである。もし、罪がないと言うなら、それは自分を欺く事であって、真理は\_\_\_\_のうちにない。もし、\_\_\_\_が自分の罪を告白するならば、神は真実で正しい方であるから、その罪を赦し、すべての不義から をきよめて下さる。(1ョハネ1:5-9)

#### メッセージ概要

イエス様は、あらゆる問題を解決してくださるお方である。悪霊、病、欠乏、罪、そして死。イエス様はそれら全ての問題から救って下さる、という信仰をもって助けを求めるなら、解決を下さる。しかしイエス様は、癒した後、もう罪に戻ってはならない、そうでないともっと悪い事が起きる、と言われた。私達の全ての問題の根源は、罪なのだ。だから私達は、罪の悔い改めこそ必須であり、問題の解決をいただいた後は、罪に戻らず、主と共に歩み続けて行く事を、必ず勧めるべきだ。これは主の働きをして行く上で必ず必要である。

今回の箇所では、悪霊に憑かれた子とその父親が登場する。その子がイエス様のところに連れて来られた時、霊はすぐ彼をひきつけさせ、泡を吹かせ転げ回ったが、イエス様はその子の「症状」に対処せず、むしろ父親とやり取りを始める。なぜなら問題はこの子だけのものではなく、父親の問題でもあったからだ。私達も、現れた症状の対処に忙殺されてはならず、問題の本質を見極め、対処する知恵を求めるべきだ。イエス様は悪霊を、「口をきけなくし、耳を聞こえなくする霊」であると明るみに出されたが、この子はなぜ、口がきけなくなり、耳が聞こえなくなったのか? 多くの場合、幼い頃から、親が厳しい言葉や怒涛のような言葉の洪水で、子供のことばを押し流してしまうなら、あるいは、子供が何かを言っても無視したままいるなら、そのようになってしまう事が多い。そうなると子は、何か、言いた事があっても、恐怖やあきらめが先立って、口と耳を閉ざしてしまう。その子は、おとなしい外見とは裏腹に、思いの中では闇が渦巻き、言いたくても言えなかった事、感じた悔しさ、恨みつらみを、ぐるぐると思い巡らし、その鬱積した感情に悪霊がつけ込んであさってな空想を見させ、子供はその中で遊び、悪霊と会話するようになる。そうしていると、肝心な時に悪霊が偽りの言葉やビジョンを怒涛のように見させ、聞かせ、本人を爆発させ、周囲を混乱に陥れる。親としては、そうなってしまった原因が自分にあるとは思わず、子をもっと言葉や力で抑え込む事になる。

良くなる方法は、ただ一つ。原因をつくってしまった自分の言動を認め、イエス様に告白し、悔い改める事である。いつまでも誰かのせいにしたり、言い訳がましい事を思い巡らしているなら、いつまでも治らない。自分が具体的に犯してしまった罪を対処しないなら、その問題は、いつまでも留まったままなのだ。この父親は、イエス様に「できるものなら」と言った。つまり期待しない心、信じない心があったのだ。どうせあなたはだめだ、できるものならやってみなさい、ほら結局できなかったでしょう、などと言って相手を信じない・期待しない、そういった言動の積み重ねが、子供を幼い時から口を閉じさせ、人の言葉を聞けなくさせて来たのだ。そうして子供は、思いの中で悪霊と遊ぶようになり、肝心な時に爆発して火の中・水の中に飛び込んで、親も自分も苦しめて来たのだ。私達もそのような「どうせだめだ」「できるものなら」と言って、信じない・期待しない思いのままであるなら、問題はそのまま残ってしまう。 イエス様は、一喝される。「できるものならと言うのか!信じる者には、どんなことでもできる!!」 父親は多くの涙とともに叫んで「信じます、不信仰な私をお助け下さい」と言った。父親は、悔い改めたのだ。それでようやく子供から、悪霊を追い出された。

問題を解決するには、本人自身の、あるいはその原因を作ってしまった人自身による「悔い改め」と、「よくなりたい」という思い、そして「イエス様への嘆願」が必要で、その内のどれか一つ欠けても、だめ</u>である。なぜなら悪霊は、闇、汚れ、罪を温床とするからだ。だから、自分の意思で決定できる成人であるなら、まず、自分が犯した罪を言い表す必要がある。親がどうであれ、周囲がどうあれ、自分の意思によってイエス様を主とし、光であられるイエス様の所に行って、追い出していただかなくてはならない(1ヨハネ1:5-9)。

自分が悪いことをしてしまった、自分は罪を犯した、人に損害を与えてしまったので心痛い、謝りたい、という感覚がある人は、治りがとても早い。しかし、罪を指摘されても認めない、悔い改めない人には、全てが無駄である。たとえ憐れみによって、そのまま解決をいただいたとしても、恩知らずな事を繰り返す事で、より質の悪い霊を引き寄せ、前よりどんどん悪くなってしまうからだ。

イエス様は、よくなりたいか、と言われた。良くなったらもう罪に戻ってはならない、と。だから私達は、「よくなりたい人」を助けるべきである。そうでない人は、ただの「くれくれ君」であり、時間泥棒、経済泥棒、エネルギー泥棒である。 もし私達の前に問題が立ちはだかっているなら、罪の告白と悔い改めが必要である事、また、イエス様を信じる者にはどんな事でもできる事を、本日学んだ。私達は主の働きをする者である。知恵と慧眼の零をいただき、人々を癒し、開放し、神の国を拡大して行く栄光の働き人でありますように!

# 横浜天声キリスト教会 礼拝 週報



パスター: 林和也 川合ゆきえ  $\pm 231-0058$ 

神奈川県横浜市中区弥生町 2-17 ストークタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <a href="http://voice.of.christ.yokohama/">http://voice.of.christ.yokohama/</a>

email: ephes 03-tensei@yahoo.co.jp

## 集会案内

14:30

主日礼拝(日曜)

日々の集会

日本語礼拝 礼拝 11:30 **English Service** 

月~金 早天祈祷会 5:00~

火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~

火~木 夜の祈祷会 19:00~

水曜礼拝

1部 13:00~

2部 19:00~

金曜祈祷会 19:00~

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → voutube.com/c/横浜天声キリスト教会

#### アクセス



横浜市営地下鉄•伊勢佐木長者町駅 6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分 JR・関内駅より徒歩 10分 京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

伊勢佐木 関内駅から伸びる大通公園沿い、 伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、 1F がファミリーマートになっております。



聖書メッセージをメールで お届けします。 左記コードを読み込み、 空メールを送信するだけ!

